

あさくち

議会だより

No. 39

平成30年
9月定例会

平成30年10月1日発行



- 9月定例会
 - 補正予算 ②
 - 主な議案 ③
- 委員会レポート ④
- 市政を問う！一般質問 ⑤
- 会議（定例会）の流れ ⑪

9月定例会は、8月28日から9月13日までの17日間の会期で行われました。

9月定例会

**増額補正 1億5,794万円 (第2号) 専決処分
6億8,100万円 (第3号)**

平成30年度一般会計予算の総額は149億3,218万円



大田池の堤防決壊



市道日原2号線の崩壊

補正予算

歳出の主なもの

区分	事業名	事業の概要	補正額
総務費/民生費/ 土木費/教育費	ブロック塀 改修・撤去事業	市民の安心・安全の確保のため、市内の公共施設等に設置されているブロック塀のうち不適合分を改修・撤去	3,894万円
総務費/衛生費/ 農林水産業費/ 土木費/災害復旧費	平成30年7月豪雨災害 復旧事業	平成30年7月豪雨による被災箇所の災害復旧 土木施設災害復旧 119件 農林施設災害復旧 33件 など	5億5,956万円
民生費	平成30年7月豪雨災害 援護資金貸付事業	平成30年7月豪雨による被災世帯に対する生活再建に必要な資金の貸付	1,100万円
農林水産業費	有害鳥獣駆除事業	有害鳥獣による農林作物被害等の防止を図るため、新規狩猟免許取得に対する補助金の拡充及び有害鳥獣捕獲器の導入に対する補助	130万円
教育費	小学校長期宿泊体験活動 推進プロジェクト事業	子どもたちの自立心や主体性を育み、問題解決能力等を高めるために実施する宿泊体験活動（県のモデル校に指定された六条院小学校）	86万円

※ 1万円未満を切り捨てて表記しています。

歳入の主なものは、国庫負担金2億3,360万円、基金繰入金1億2,704万円、市債1億5,250万円などです。

主な議案

条例

○国民健康保険税条例の一部改正

【原案可決】

平成30年7月豪雨による被災者に対して国民健康保険税の災害減免を行うことができるよう、条例の一部を改正するもの。

○地方活力向上地域特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正

【原案可決】

「地域再生法」の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

○災害甲斐金の支給等に関する条例の一部改正

【原案可決】

「災害甲斐金の支給等に関する法律」の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

○家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

【原案可決】

「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

【原案可決】

「子ども・子育て支援法施行規則」の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

○指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

【原案可決】

「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

○企業育成振興条例の一部改正

【原案可決】

「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

専決処分

○平成30年度浅口市一般会計補正予算(第2号)

【承認】

平成30年7月豪雨災害に伴い、1億5794万円増額補正したもの。

※専決処分とは

議会が議決又は決定する事項を、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がない場合などに、市長が議会に代わって処分すること。

議案に対する賛否

本定例会で審議した議案に対する各議員の賛否は次のとおりです。

【○】賛成、【×】賛成でない、【-】不参加、【欠】欠席

議案名	議員名	浅口朋進会							日本共産党 浅口市議員団	政和会		無会派					議決結果	
		中西 美治	大西 洋平	伊澤 誠	藤井 立子	石井由紀子	山下 周吾	桑野 和夫	沖原 有美	井上 邦男 (議長)	藤澤 健	香取 良勝	大西 恒夫	青木 光朗	竹本 幸久	佐藤 正人		横山 達士
承認第 8号	専決処分した事件の承認 (和解及び損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	承認
承認第 9号	専決処分した事件の承認 (平成30年度一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	承認
承認第10号	専決処分した事件の承認 (和解及び損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	承認
議案第46号	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第47号	地方活力向上地域特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第48号	災害甲斐金の支給等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第49号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第50号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第51号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第52号	企業育成振興条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第53号	平成30年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第54号	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第55号	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	原案可決

※議長は採決に加わりません。

委員会レポート

平成30年7月豪雨による被災状況等

各常任委員会へ、平成30年7月豪雨による浅口市での被災状況及び経過等の説明があった。

7月31日現在で、人的被害（死亡者1人、負傷者1人）、住家被害（半壊2棟、一部損壊6棟、床上浸水4棟、床下浸水59棟）、がけ崩れ等による被害（281件）を確認している。

浅口市としては、7月5日夜に大雨洪水警報発表のもとに災害対策本部を設置。また、7月6日夜には大雨特別警報が発表され、7月4日から7日までの累積雨量は最大で352ミリを記録した。避難情報による避難者数は最大で136世帯、352人であった。

周辺被災地への支援として、真備町避難者へ健康福祉センターにて入浴の提供、矢掛町へ水道支援、真備町・総社市へ麦わら帽子の提供、避難所運営職員の派遣などを行っている。

り災証明は、32件申請があり、23件交付している。

社会福祉協議会によるボランティアセンターでは、8月3日までに延べ165人が活動した。

この7月豪雨では、浅口市に災害救助法が適用、激甚災害にも指定された。8月1日に災害復旧の補正予算として1億5794万円を専決処分したとの報告を受けた。

総務文教常任委員会

○8月7日

平成30年7月豪雨について所管分としては、市内小中学校の休校、園の休園、公共施設の休館など対応した。また、市指定文化財である青佐山台場跡の一部が崩落し、復旧について県と協議を進めている。

また、6月18日に発生した大阪北部地震によりブロック塀が倒壊し、登校中に児童の死亡事故が起きたことから、浅口市では公共施設のブロック塀の状況調査を実施。危険な状況のブロック塀はなかったが、多くのブロック塀が老朽化しており、18ヶ所で不適格な部分が見られた。



通学路沿いの老朽化したブロック塀

このため、不適格なブロック塀をフェンス等に改修し、一層の安全管理を図るとの報告を受けた。

産業建設常任委員会

○8月9日

平成30年7月豪雨による市内の被災状況について20ヶ所の現場写真を見ながら説明があった。

7月6日から7日の深夜、下水道システムに異常が発生、赤鉢ポンプ場が一時停止したが、すぐに再稼働した。市内3ヶ所の浄化センターに被害はなかった。

また、7日深夜、遙照山に上る県道の土砂崩れ等の影響で停電が起き、地頭上の山ノ神ポンプ場、大峠ポンプ場が送水停止になったが、8日には復旧した。市内の他の水道施設には異常等、被害はなかったとの報告を受けた。

その後、金光町上竹地区と鴨方町六条院東地区の市道損壊現場を視察した。



上竹地区の市道板峠目鑑線の現場を視察

民生常任委員会

○8月8日

平成30年7月豪雨の状況について所管分としては、市内の災害ごみの発生状況並びに高梁市からの可燃ごみの受け入れなど、県内他市との連携について説明があった。

また、要介護支援者全員と連絡を取り安全であるという状況を確保、床上及び床下浸水の被害箇所に対し、消石灰やクレーンの配付を実施したとの報告を受けた。



仮置場に搬入された災害ごみ

一般質問 市政を問う!

9月定例会では、10人の議員が一般質問で市政を質しました。

	質問者	質問項目	ページ
代表質問	浅口朋進会 中西美治	○災害に強いまちづくりについて ○2025年問題について	6
	日本共産党 浅口市議員団 桑野和夫	○西日本豪雨災害を受けて浅口市の災害対策は ○就学援助制度の新入学用品費早期支給について ○市民のいのちと暮らしを守る浅口市にするためにも、一層働きやすい職場づくりを	6
個人質問	香取良勝	○税金の無駄について	7
	佐藤正人	○災害弱者を守る避難対策は ○市内の浸水対策は	7
	大西恒夫	○7月豪雨災害について ○障害者雇用水増し問題について	8
	藤井立子	○子供たちのゲーム依存(障害)は ○猛暑から児童生徒などを守る対策は	8
	山下周吾	○健康福祉センターの運営状況と、国民の祝日に関する法律の改正に伴う月曜祝日での対応は ○浅口市のインターネットを利用した情報発信について ○若い人から高齢者まで全ての皆様が遊び楽しむことができる浅口市について	9
	沖原有美	○7月豪雨災害を受けて浅口市の今後の対応は ○市営バス浅口ふれあい号について ○学校給食費の無償化について	9
	石井由紀子	○浅口市学校給食センター運用開始に伴い、使用しなくなった給食室の今は ○岡山天文博物館リニューアル後の入館者の状況と今後の取り組みは	10
	横山達士	○有害鳥獣対策について ○災害対策について ○災害時における自治体及び各種団体との協力体制について	10



浅口朋進会
中西 美治

質問項目

- 災害に強いまちづくりについて
- 2025年問題について

災害に強いまちづくりについて

問 西日本豪雨災害で、河川の水位や護岸の監視状況、避難準備、避難勧告、避難指示の発令、情報伝達の方法とそのタイミング、大雨特別警報の発令など、安全対策上どのような措置をとったのか。

答 気象情報や河川水位等の状況を考慮し、適切なタイミングで発令できたと考えている。今後も余裕を持って安全に避難できるように十分気をつけたい。

問 防災情報の伝達手段は、複数の手段を併用することが重要と考え、緊急速報メール、ホームページへの掲載や消防団の広報活動なども行った。また、大雨特別警報の発令で、職員を警戒態勢から非常態勢へと移行し、全職員で避難所運営、現場確認等を行った。

答 今後、洪水・津波・土砂災害などについてのマニュアルの見直しは、

問 県が里見川の最大規模降雨に

よる洪水浸水想定区域図の作成を現在進めており、その内容を反映させたハザードマップを全戸配布。学校などへも配付を考えている。

2025年問題について

問 2025年には、人口の3人に1人が65歳以上、団塊世代は75歳以上になり、5人に1人が後期高齢者になる。医療や介護など社会保障費の負担増や福祉サービス低下につながる懸念があるが、その対応は。

答 介護保険事業計画は、期間を通じて同一の保険料を介護サービスの見込み量に見合うよう設定。介護保険費用が見込みを下回る場合は余剰金を基金に積み立て、上回る場合は基金から取り崩して介護保険特別会計に繰り入れ、財政均衡を保つ。

問 限られた財源と人材をより重点的・効率的に活用し、介護保険制度の安定性を引き続き確保していく。



日本共産党
浅口市議員団
桑野 和夫

質問項目

- 西日本豪雨災害を受けて浅口市の災害対策は
- 就学援助制度の新入学学用品費早期支給について

西日本豪雨災害を受けて浅口市の災害対策は

問 市民の命と生業を守るため、優先して減災に必要な予算を付けていくことが大事と思うが、土木的、公共施設的な所をしっかりと直すよう、優先順位をつけて検討していく。

答 平成32年度から支所の業務が縮小されるが、災害時の対応はどうなるのか。本庁のある鴨方が優先されることはないか。

問 支所に災害時の連絡調整員を毎年配置し、職員間で地域の災害特性の情報共有を図る。また、本庁全体で市全域に対応する体制を確保し、緊急性のある所から順番に対処する。

答 今回浸水した金光町小田・沼田地南・支所付近の点検と対応は。

問 この区域内の水は最終的に里見川に流入する。災害状況を踏まえ、河川の利用形態・排水処理能力などを検証し、県が管理する河川は早急に県へ要望する。

問 金光町佐方に造成される工業団地の雨水などの処理方法は。1ha以上の開発で定められた洪水調整池を設け、下流河川に放流する。

答 今回の民地の土砂撤去費用が、公費で負担されるのか。

問 この度の被害の甚大さを考慮し、対象となる内容を拡充して、民地内の土砂混じりがれき処理の公費負担を決めた。補正予算可決後に、り災証明申請者への通知やホームページなどで、この支援措置の周知を図る。

就学援助制度の新入学学用品費早期支給について

問 現行の4月支給を3月頃の支給にすれば利用者も増えるのでは。

答 就学援助制度が有効に活用されるよう、平成31年度実施に向け、規則改正等準備を進めている。



香取 良勝

質問項目

- 税金の無駄について

税金の無駄について

問 金光病院が老健施設を建設するにあたって、浅口市が国から10億円の融資を受け、その利息約490万円を浅口市民の税金でまかなっている。この件について詳細な説明を求める。

答 この制度は地域総合整備資金貸付事業で、地方公共団体が民間金融機関等と地域振興の民間事業活動を支援するために、(財)地域総合整備事業団(ふるさと財団)の支援で行う国の制度で、市の負担は利子分の25%の負担だけで企業誘致や雇用拡大が生まれる非常に良い制度。また、金融機関が連帯保証者となっているので、市が保証債務を負うことはない。

問 前もって他の病院にも知らせるべきではないのか。

答 今後は情報収集して丁寧に説明させていただく。

問 浅口工業団地の残土について金光中学校北の民間の宅地開発事業に残土を何m搬入したのか。また、運搬費用はいくらだったのか。

答 工業団地A地区造成工事で金光中学校の北の民間宅地開発事業に1万3000m³を搬入し、運搬費用は市が1200万円支払った。

問 笠岡のヒルタ工業内で被災して亡くなられた方に災害弔慰金を500万円支給した。今までのようなことが浅口市であったのか。

答 災害弔慰金等の支給に関する法律に基づいて災害救助法が適用されたもので、市の条例により実施。災害弔慰金の支給は、浅口市になり、この7月豪雨災害が初めてである。

問 市民の税金です。公平公正に対応してください。

答 市民の税金です。公平公正に対応させていただきます。



佐藤 正人

質問項目

- 災害弱者を守る避難対策は
- 市内の浸水対策は

災害弱者を守る避難対策は

問 7月の西日本豪雨では、特に被害が大きかった倉敷市真備町での避難行動のあり方が問われている。浅口市での要支援者の避難対策は。

答 高齢者・障がい者は避難場所への移動に時間がかかるという課題がある。浅口市には、自力で避難することが困難な高齢者や障がい者を地域ぐるみで支える体制として、避難行動要支援者名簿登録制度がある。今回も関係者の支援をいただいで避難したのと思っている。

また、その中にある個別計画では、どういう支援が必要なのか、どこへ避難するのか、だれが支援するのかという内容を登録しており、状況によっては市の関係部署、警察、自主防災組織、民生委員らと情報を共有し、安心安全に避難できるように役立てていく。

毎年地域の民生委員が個別計画の中身や手続きを説明し、要

支援者名簿に登録している。75歳以上の高齢者が対象で、5月7日現在1492名が登録している。今後も、さらに安心して避難できるよう努めていく。

市内の浸水対策は

問 浅口市でも浸水被害が多く発生した。今後も異常気象による集中豪雨が予測される。市内での浸水被害状況は。

答 床上浸水は金光1件、鴨方2件、床下浸水は金光24件、鴨方35件、寄島2件であった。

問 今後の治水・浸水の対策は。

答 浸水地域では、排水計画の見直しや河川・水路の改修を行う。八重地区の排水機場では4基が72時間フル稼働したが雨量の多さで間に合わなかった。対策として仮設ポンプや緊急発電機の設置を考えると、河川の浚渫や排水ポンプの設備強化など、県に要望していく。



大西 恒夫

質問項目

- 7月豪雨災害について
- 障害者雇用水増し問題について

7月豪雨災害について

問 市民への危険度の連絡方法について、分かりやすい方法はなにか。笠岡放送の活用は考えられないか。また、地域にコミュニティセンターのような避難場所を設けてはどうか。

答 警報等の気象情報が発表された場合には、地域防災計画で決められている避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示などの判断基準に基づき、緊急防災メール、登録メール、消防団による広報や同報無線放送など複数の手段で徹底を図っている。引き続き普及啓発に努めていく。

笠岡放送による防災情報の活用については協議し努力していく。地域に密着した施設の新設は考えていない。公会堂を一時的な避難場所とすることなど地区の管理者と検討していきたい。

問 水位観測所、水位表示板の数を増やす考えはないか。危険度の基準を決めているのか。

答 水位観測所の情報は、岡山防災ポータルで確認し、県の情報だけでなく、現地を見て避難判断に活用している。

水位表示板は、鴨方町丁、鴨方小学校付近に県が設置に向けて準備している。

問 不要なため池の管理は、今後どのように取り組むのか。

答 不要なため池は、樋の栓を抜いたり、地区のため池の管理者や地区の責任者と協議により対処している。

障害者雇用水増し問題について

問 障害者雇用促進法に基づき、障害者を一定の割合で雇用することが義務付けられている。浅口市はどのようになっているか。

答 国のガイドラインに沿って対応している。平成30年6月1日では2.51%で達成している。



藤井 立子

質問項目

- 子供たちのゲーム依存（障害）は
- 猛暑から児童生徒などを守る対策は

子供たちのゲーム依存（障害）は

問 岡山県教育委員会の2017年度調査では、平日1日スマホなどを3時間以上利用する児童生徒は小学生高学年17.3%、中学生25.1%、高校生36.3%の結果がでた。家庭での学習時間が少ないようですが、ゲーム依存との関係は。

答 中学3年生を対象とした全国学力学習状況調査では、授業以外での学習時間が1時間以上は割合が全国に比べ浅口市では4.9%と少ない。家庭学習におけるタイムマネジメントなど家庭と連携した取り組みを工夫している。

問 世界保健機関が「ゲーム障害」を新たな疾病と認定、依存症の一つとして加えた。ゲーム依存は引きこもりや退学など深刻な影響を与える。小中学生を依存から守るための対策は。

答 保護者啓発を強化するため、7月に時間制限フィルタリ

ングアプリを紹介したチラシを配り活用をお願いした。

猛暑から児童生徒などを守る対策は

問 浅口市では全教室にエアコンを設置しているが、屋内運動施設での安全対策のため窓に網戸やミスト付扇風機の設置をしてはどうか。また、天草公園体育館、寄島B&G体育館にも同じく設置を。

答 公立小中学校体育館の一部には網戸を設置しているが、今後はミスト付扇風機と合わせ、効果的に活用できる場所や方法を考え設置する。

問 高齢者の熱中症予防対策は。

答 7月に「危険熱中症」というあさくちメールを配信。また、介護予防教室、地区での出張講座、介護支援専門員が家庭訪問をした際や毎月の包括支援センターだより、緊急通報システム電話で呼びかけをしている。



山下 周吾

質問項目

- 健康福祉センターの運営状況と、国民の祝日に関する法律の改正に伴う月曜祝日での対応は
- 浅口市のインターネットを利用した情報発信について

健康福祉センターの運営状況と、国民の祝日に関する法律の改正に伴う月曜祝日での対応は

問 健康福祉センターの現在の利用状況は。

答 平成28年度、年間利用件数は1513件。利用者数は延べ3万6788人、年間開設日数は296日。

問 月曜祝日の増加による、健康福祉センターの祝日開館予定は。

答 月曜日開館のための経費、施設管理での保守点検、また、老朽化による修繕料、稼働率を踏まえた費用対効果やランニングコストも考えながら、今後検討していく。

浅口市のインターネットを利用した情報発信について

問 現在インターネットを使用し浅口市から情報発信できるものは。

答 市のホームページやメール配信サービス。アプリケーションを使用したものでは、あさくちなびやフェイスブックなど。

問 あさくちなびとは、どのようなものか。

答 スマートフォンなどで使えるアプリケーション。地域のニュースなど、多くの情報を簡単に得ることができる。あさくちなび、あさくち子育てメール、地震・津波・大雨・洪水などの気象情報、土砂災害警戒情報やオキシダント情報などが確認できる。

問 今後、インターネットを使用し情報発信をより良く発展させていくための考えは。

答 あさくちなびやメール配信サービスなどの入手方法のお知らせ、さらに、災害時でのフェイスブック、SNSなどでのより良い情報発信に取り組む。



沖原 有美

質問項目

- 7月豪雨災害を受けて浅口市の今後の対応は
- 市営バス浅口ふれあい号について
- 学校給食費の無償化について

7月豪雨災害を受けて浅口市の今後の対応は

問 自主防災組織への備蓄品配付の複雑な申請手続きをなくしては。

答 補助金を交付する制度は公金が使われるため、職員が丁寧に応対して、要綱に基づいた様式をお願いをしている。

問 いつも冠水する場所に観測用のカメラを設置してほしい。

答 カメラの設置は考えていない。まずは排水対策を進めていく。今回ハザードマップの重要性を実感した。マップで啓発を図り、早い段階の避難につなげたい。

市営バス浅口ふれあい号について

問 積み残しの実態はあるか。

答 平成29年度一年間で、寄島西線2件2名、寄島東線で12件34名の積み残しがあった。

問 積み残された方への対応はどうなっているか。タクシー補助券を考えてはどうか。

答 補助券は考えていない。現在定員の14名を超えた場合は、お断りしている状況であるが、バスを1台購入し増便する予定。また、公共交通のアンケートを実施し、状況を分析、総合的対応をとる。

問 高齢の利用者が多いのでシルバーカーを積む場所が必要では。

答 今のバスの形状では、乗車定員を確保すると難しい状況である。

学校給食費の無償化について

問 全面無償化が困難なら、一部補助をしてはどうか。

答 給食費提供には多額の費用がかかっている。実費が支給される就学援助制度を活用していただきたい。



石井由紀子

質問項目

- 浅口市学校給食センター運用開始に伴い、使用しなくなった給食室の今は
- 岡山天文博物館リニューアル後の入館者の状況と今後の取り組みは

浅口市学校給食センター運用開始に伴い、使用しなくなった給食室の今は

問 浅口市学校給食センター運用開始に伴い、以前の給食室・施設及び備品の管理、使用状況はどうか。また、今後の方針は。

答 鴨方は全校自校方式だったので給食室は各学校で管理している。金光及び寄島の給食センターは、現在教育委員会が管理しているが、建物を残しての売却を基本に専門家の意見も聞きながら検討している。備品は、スポーツ少年団などに貸し出している。

岡山天文博物館リニューアル後の入館者の状況と今後の取り組みは

問 今年3月24日にリニューアルした岡山天文博物館の来館者数は。また、感想や要望など把握するためのアンケートは実施したか。

答 3月24日のオープンから7月末までの約4か月間で1万306人（一般7839人、高校生以下2467人）となっております、前年度同時期に比べ約2倍強となっております。アンケートについては、今後の利用者の負担にならないよう効果的に取り組んでいきたい。

問 今後の利便性向上のための取り組みは。博物館までの交通手段として浅口ふれあい号の運行を考へてはどうか。

答 リニューアル時に、障がい者用の駐車場を整備し、正面玄関横に休憩所を設置した。また、今年度になって博物館下の駐車場を舗装した。今後は、外国人向けに英語や中国語での案内表示も検討しており、更にアンケート結果をもとにできることから取り組みたい。

問 交通手段としての浅口ふれあい号の運行については、目的や利用頻度を考えると現時点では難しい。



横山 達士

質問項目

- 有害鳥獣対策について
- 災害対策について
- 災害時における自治体及び各種団体との協力的体制について

有害鳥獣対策について

問 市内のイノシシの捕獲頭数は。平成29年度では176頭。

答 農作物のために狩猟免許取得者の増加につなげる対策は。狩猟免許取得の補助金の増額と罟購入の補助を始める。駆除範囲の保険料については一部補助を始めている。これ以外にも、他の自治体の例も参考に検討し、今後も支援を続ける。

問 イノシシの出没危険箇所マップ作成などの対策は。

答 出没地域を猟友会や町内会に聞き取りを行いマップ作成に向けて検討する。

災害対策について

問 7月豪雨における個人所有地の災害に対する市の対応は。

答 この度の7月豪雨の被害が甚大であることから環境省の災害等廃棄物処理事業を活用。宅地

内に流入堆積した土砂混じりがれきの処理を公費で支援する。

問 ハザードマップなどで示されている危険区域の対応は。

答 砂防堰堤は緊急を要する場所より順次対応する。

問 災害時、防災情報の伝達方法と防災意識の向上対策は。

答 避難情報はメール・テレビ・ホームページ・緊急告知FMラジオなどにより伝達。防災意識向上の手段としては、防災について学習する機会を増やすとともに、分かりやすい防災情報の提供を図り防災意識の向上に努めていく。

災害時における自治体及び各種団体との協力的体制について

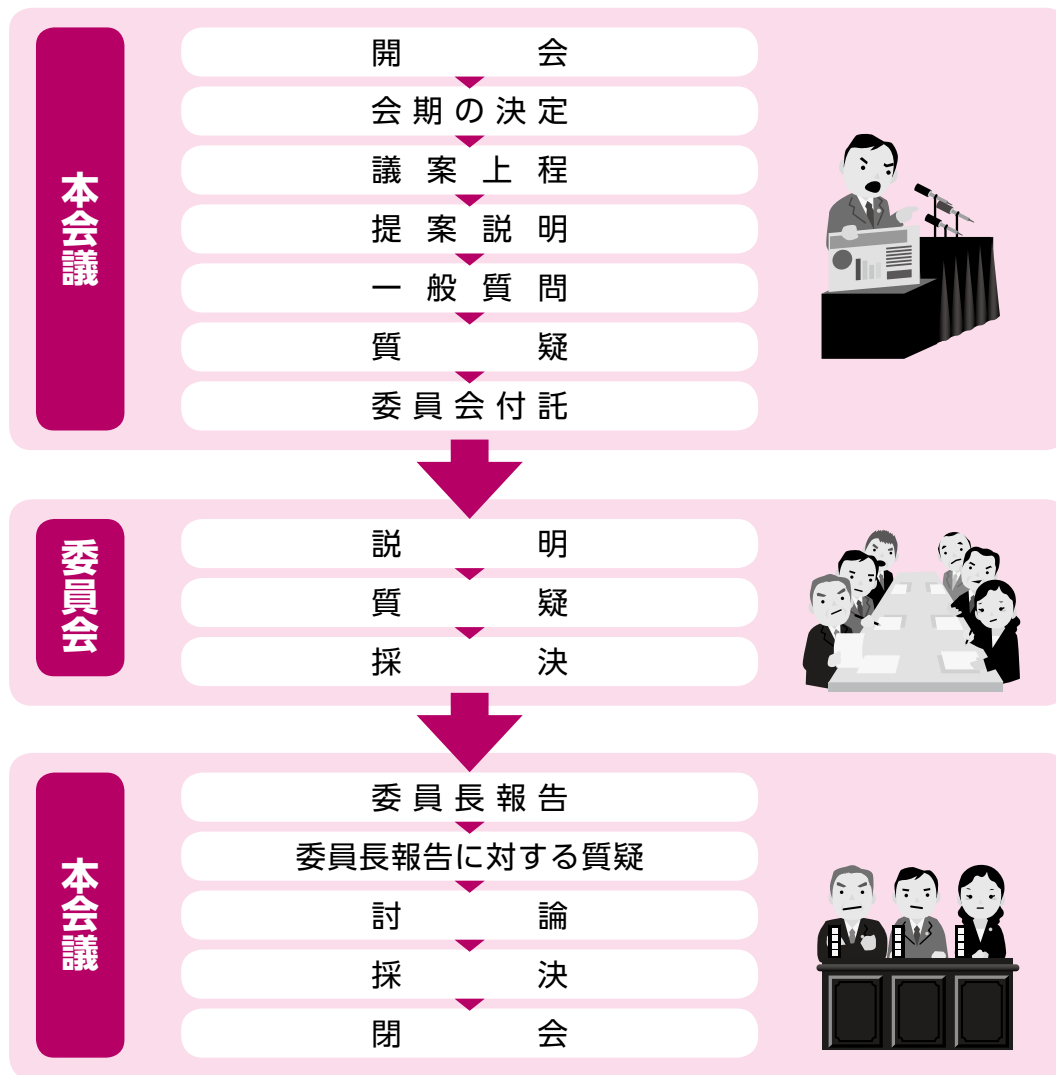
問 災害協定の現状は。

答 応急対応や情報、物資の提供など31の協定を締結している。必要に応じて増やしていく。

会議（定例会）の流れ

定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開かれ、予算や条例等の市政を進めていく上で重要な事項を審議します。

会議の流れについての概要は、次のとおりです。



用語解説

議案上程	議事日程に組み入れて、議題とし審議の対象とすること。
一般質問	市政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質すこと。
質疑	議案について疑義を質すこと。
委員会付託	詳しく検討を加えるために、委員会に審査を託すこと。
討論	議案について賛成か反対かの自己の意見を表明すること。
採決	議長が出席議員に賛否の意思表示を求め、それを集計すること。

地域おこし 協力隊紹介



地域活動支援 担当
沖村 舞子 さん
(神奈川県から移住)

現在取り組んでいること

住み慣れた地域でイキイキと暮らし続けられるようにするために、協議会型住民自治組織設立に向けたサポートをしています。住民の方にアンケートを取って地域の現状を把握して、課題解決のための仕組み作りを地域の方と一緒に進めています。

これから行っていきたいこと

空き家や空き店舗を活用して、地域の方が気軽に集える場所を各

地域おこし協力隊とは？

都市部からの移住を支援する国の事業。地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図ることを目的とした制度。

地域に作っていききたい。

任期後も市内で活動を続けられるように、昨年5月に一般社団法人を設立しました。

岡山天文博物館でお土産ショップを運営しながら、地域活動の支援を行っています。



地域の方と空き家活用について検討している様子

平成30年7月豪雨災害で被災された市民の皆様
に心からお見舞いを申し上げます。
一日も早い復旧・復興
に向けて取り組んでまいります。

傍聴へお越しく下さい

(本庁舎3階)

傍聴は、議会活動にふれることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽に傍聴へお越しく下さい。

なお、次回の12月定例会は、11月27日に開会予定です。

会議の日程は、11月下旬に議会運営委員会決定され、ホームページで公表します。



浅口市議会

検索

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音読しています。

表紙写真

8月16日に金光さつき図書館で絵本や紙芝居のおはなし会(おはなしおもちゃばこ)が行われ、読み聞かせが始まると、子どもたちはきらきらと目を輝かせて絵本に見入っていました。



広報特別委員会

委員長 伊澤 誠
副委員長 佐藤正人
委員 沖原有美 山下周吾
横山達士 石井由紀子
藤井立子 中西美治



議会だよりは再生紙を使用しています

